

1 論文発表

No.	著者	題名・掲載誌
1	Hino A, Yamashita Y, Yamaguchi M, Azenishi Y	Recurrent and Progressive Abdominal Pain and Enteritis in a Japanese Patient with Proxysmal Nocturnal Hemoglobinuria. Case Reports of Hematology, 2014
2	Harada N, Hiramatsu N, oze T, Yamada R, Kurokawa M, Miyazaki M, Yakushijin T, Miyagi T, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Oshita M, Mita E, Hagiwara H, Inui Y, Katayama K, Tamura S, Yoshihara H, Imai Y, Inoue A, Hayashi N, Takehara T	Incidence of hepatocellular carcinoma in HCV-infected patients with normal alanine aminotransferase levels categorized by Japanese treatment guidelines. J Gastroenterol 2013 Apr, 48(4):535-43
3	Takehisa Yamamoto, Mai Ihashi, Yoshimi Mizoguchi, Hiroshi Kaneno, Katsusuke Yamamoto, Yutaka Inoue, Tetsuo Kase, Nobuhiko Okabe, and Tsunesuke Shimotsuji	Early therapy with neuraminidase inhibitors for influenza A(H1N1) pdm 2009 infection Pediatr Int 55 (6) : 714-721, 2013
4	Takehisa Yamamoto, Yoshimi Mizoguchi, Hiroshi Kaneno, Katsusuke Yamamoto, Yutaka Inoue, Hisashi Kawashima, Tetsuo Kase, Tsunesuke Shimotsuji,	Serum immunoglobulin G subclass levels and estimated clinical severity caused by possible influenza A (H1N1) pdm 2009 infection. J Infect Chemother 19 : 833-842, 2013
5	Makoto Fujiwara, Noriyuki Namba, Kohji Miura, Taichi Kitaoka, Haruhiko Hirai, Hiroki Kondou, Tsunesuke Shimotsuji, Chikahiko Numakura, Keichi Ozono,	Detection and Characterization of Two Novel Mutations in the HNF4G Gene in Maturity-Onset Diabetes of the Young Type 1 in Two Japanese Families. HORMONE RESEARCH IN PEDIATRICS 79 : 220-226, 2013
6	Sasamoto N, Yamamoto Y, Adachi K,	Ovarian tumor treated by laparoendoscopic single-site surgery through the preexisting paraumbilical hernia: an initial case report. Gynecological Surgery 10(2):155-157, 2013May
7	Kazunari Tanaka, Koji Horaiya, Junko Akagi, Nagatoshi Kihori,	Timely manner Application of Hand orthoses for Amyotrophic Lateral Sclerosis. Prosthetic and orthotics International. 38 : 239-242, 2014
8	飯田さよみ	パスの役割はアウトカムの明確化、治療脱落防止とHbA1c改善で効果 事例2 箕面市立病院/能勢糖尿病地域連携パスの長期成績 (インタビュー記事) 秋号 : 9-12, 2013
9	井端 剛、津川有理、西谷重紀、西井稚尋、小室竜太郎、飯田さよみ	MRIにて高度脂肪肝および膵炎症所見を呈した劇症1型糖尿病の1経過観察例 糖尿病 57 (1) : 35-40, 2014
10	金井秀行	経口抗凝固薬の使い分けは本当に可能か-新規抗凝固薬の特徴とワルファリンとの比較- 箕面市医師会雑誌 平成26年3月号 : 20-24, 2014
11	大島 聡、高石健司、谷奈緒子、平野美樹、池田公正、間狩洋一、星美奈子、土井貴司、小堀優子、黒川英司、田村信司	TACE施行後にClostridium肝膿瘍を併発した肝細胞癌2症例の検討 癌と化学療法 40 (12) 1795-1797, 2013
12	山本威久	特集 : くる病・骨軟化症 UPDATE - Therapy - FGF23関連低リン血症性くる病の治療 CLINICAL CALCIUM 23 (10) : 99-120, 2013
13	山本威久	特集 : 知っておきたい先天性・遺伝性内分泌疾患「McCune-Albright症候群」 内分泌・糖尿病・代謝内科 37 (4) : 433-440, 2013
14	山本威久	骨粗鬆症の類縁患者の診断と治療「骨軟化症」 日本臨床 71 (増刊2) : 591-595, 2013

No.	著者	題名・掲載誌
15	窪田拓生、北岡太一、三浦弘司、大幡泰久、三善陽子、藤原 誠、山本景子、難波範行、武鍵真司、山本威久、大藪恵一	ビタミンD欠乏性くる病の診断における血中FGF23濃度の有用性 日本内分泌学会雑誌-第22回臨床内分泌代謝Update Proceeding 89(別冊) : 52-53, 2013
16	山本威久	地域医療ネットワークシステムの構築と利用実績 全国自治体病院協議会雑誌 52(5) : 59-62, 2013
17	山本威久	サテラトミーティング2” 保護者から聴く、そして育む” 小児救急電話相談のあり方・豊能広域こども急病センター 日本小児科医会報第24回日本小児科医会総会フォーラムから 46 : 60-61, 2013
18	山本威久	センターと新型インフルエンザ 豊能広域こども急病センター10年のあゆみ 開設10周年記念誌 vol. 15, 2013
19	土井貴司、黒川英司、小堀優子、星美奈子、大沢日出樹、永瀬博次、間狩洋一、三宅泰裕、大島 聡、池田公正、飯島正平、吉川宣輝、美馬正幸、出水祐介、不破信和	肺尖部胸壁浸潤癌に対して粒子線治療を施行した1例 癌と化学療法 Vol. 40(別冊) : 2333-2335, 2013
20	大島 聡、高石健司、谷奈緒子、平野美樹、池田公正、三宅泰裕、間狩洋一、星美奈子、土井貴司、小堀優子、黒川英司、田村信司	TACE施行後にClostridium肝膿瘍を併発した肝細胞癌の癌2症例の検討 癌と化学療法 Vol. 40(別冊) : 1795-1797, 2013
21	間狩洋一、飯島正平、長瀬博次、大澤日出樹、土井貴司、星美奈子、三宅泰裕、大島 聡、池田公正、黒川英司、吉川宣輝	四次治療でのXP療法にてPRとなった、再発胃癌の1例 癌と化学療法 Vol. 40(別冊) : 2265-2268, 2013
22	松野裕旨、宮本敦史、三田英治、山本和義、池上雅一、宮崎道彦、池田正孝、平尾素宏、藤谷和正、関本貢嗣、中森正二	肝細胞癌に対するRFA後の肝外進展に対して外科切除を施行した1例 癌と化学療法 Vol. 40(別冊) : 1825-1827, 2013
23	岡本恭典、津田隆之	大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折と鑑別を要した大腿骨頭病的骨折の1例 Hip Joint '13 vol39(8) : 212-215, 2013
24	坂井勇介、上杉和広、藤島弘頭、津田隆之、村瀬 剛	脊髄空洞症患者に生じた尺骨偽関節の1例 臨床整形外科 48(8) : 819-823, 2013
25	桑江克樹	日常診療に役立つ創傷治療の知識—理論と実際— 大阪府内科医師会会誌 22(1) : 55-64, 2013
26	乾恭子、桑江克樹	CEA高値、PET陽性を認めたChondroid syringomaの1例 日本形成外科学会会誌 33(6) : 452-456, 2013
27	菅尾英木	自律神経に関連する最近の話題と排尿障害治療薬 箕面市医師会報 460(5) : 8-10, 2013
28	山本善光、田中幹二、尾崎浩二	MFICUマニュアル メディカ出版 367-371, 2013
29	山口侑里子、佐々本尚子、三好ゆかり、山本善光、雨宮京夏、足立和繁	再発卵巣癌に対するetoposide内服加療中に骨髄抑制が遷延し再生不良性貧血の発症をきたした1例 産婦人科の実際 62(10) : 1427-1434, 2013
30	田中一成、富徳真洋、金光律、佐浦隆一	非特異的腰痛いわゆる腰痛症に対するリハビリテーションのエビデンスと実際 ペインクリニック 34(1) : 115-122, 2013
31	田中一成	リハビリテーションにおける動作・活動の変化を指標とする、ADLとその評価 ペインクリニック 34(10) : 1369-1375, 2013
32	白銀隆宏、野口貴明、江頭 誠、田中有美、津田隆之、田中一成	下肢切断後に生じた大腿骨顆上骨折の1例 リハビリテーション診療 13 : 48-53, 2013
33	田中一成	II. 各種慢性疼痛疾患におけるリハビリテーション療法. 2. 腰・下肢痛 3.) 非特異的腰痛いわゆる腰痛症にたいするリハビリテーションの実際 花岡一雄：編「痛みとリハビリテーション」 真興交易(株) 67-75, 2014

No.	著 者	題 名 ・ 掲 載 誌
34	田中一成	Ⅱ. 各種慢性疼痛疾患におけるリハビリテーション療法. 7. 関節痛. 1.) 関節痛に対する運動の効果 花岡一雄:編 「痛みとリハビリテーション」 真興交易(株) 121-129, 2014
35	田中一成	V. リハビリテーションの基本的概念. 8. 痛みに関連する リハビリテーション:リハビリテーションにおける動作・ 活動の変化を指標とするADLとその評価 花岡一雄:編 花岡一雄:編「痛みとリハビリテーション」 真興交易(株) 241-247. 2014
36	田中一成	リハビリテーション、運動療法 小川節郎:編「ペインクリニックのための新キーワード 136」 真興交易(株) 302-304, 2014
37	田中一成	リハビリテーションセンターについて Mich 28 () , , 2013/7月号
38	見戸佐織、土井聖子、四宮 聡、 飯島正平	箕面市立病院での輸液ライン管理の取り組み. 静脈経腸栄養 29(2):695-702, 2014
39	鈴木 恵	わたしの仕事一週間. 月刊『臨床栄養』連載企画執筆 2013. 7月号
40	日高久美	退院時栄養治療実施計画兼報告書の添付は退院時栄養管理 サマリーの代用になっているか 癌と化学療法 40(suppl II) : 221-223, December, 2013
41	和口秀子	脳出血患者の急性期病院における在宅復帰をめざして -退院調整看護師と患者家族としての立場から学んだこと- 癌と化学療法 40 (suppl II) : 216-218, December, 2013
42	大石貴幸、四宮 聡、伏見 了、 大久保憲	アデノシン三リン酸測定器および試薬間における相関関係 と医療分野における適切な活用 環境感染誌vol28(5)2013 285-289
43	四宮 聡	感染対策の費用対効果 示し方・見せ方・まとめ方・計算 方法INFECTION CONTROL2013 vol122(5) プランナー
44	四宮 聡	感染対策の費用対効果 示し方・見せ方・まとめ方・計算 方法 ~費用対効果を出す前に考慮すべきポイント~ INFECTION CONTROL2013 vol122(5)488-490
45	四宮 聡	結果が出せる感染対策いちから始める実践プログラム第1章 編集協力者INFECTION CONTROL 2013春季増刊号編集協力
46	四宮 聡	結果が出せる感染対策いちから始める実践プログラム第1章 ~周術期予防的抗菌薬処方が主治医ごとにはばばらでまと まりがない~INFECTION CONTROL 2013春季増刊号 109-111
47	四宮 聡	ベッドサイドケア 自施設に合わせたエビデンスのあるケ アの導入と工夫 ~SSIを起こさないための工夫~ 重症集中ケア2013 vol112(3)119-123
48	四宮 聡	デキルICTになる! 「必須データ」取り方×読み方×フィー ドバック特集 手術に関連する病院感染-SSIサーベイランス- INFECTION CONTROL2013 vol122(10)969-972
49	四宮 聡	病院内で取り組む感染対策 基本と鉄則-変化に気づく! サーベイランスの実際と活用-月刊ナーシング2013 vol133(13)42-43
50	四宮 聡	最新エビデンスに基づいた「ここが変わった」看護ケア Part2感染管理 (手術部位感染防止ケア) エキスパートナース 2013年 40-46、53-57
51	四宮 聡	根拠に基づいた感染管理を学ぶ! そここが知りたい! 感染 管理Q&A 看護技術2013 vol159(14)16-17、44-45
52	四宮 聡	日本発エビデンスで変わるSSI対策~麻酔直後の低体温を防 ぐプレウォーミング~ NIKKEI MEDICAL2014. 02;31